

2011年3月20日

各位

エクソンモービル有限会社
問合せ先：広報渉外部
TEL 03-6713-4378
甲斐 080-1026-3736
田所 090-6930-9103

東北地方太平洋沖地震による影響について 第8報

エクソンモービル・ジャパングループは、被災地への燃料油安定供給に全力を挙げて取り組んでいます。生産設備は順調に復旧し、塩釜油槽所の復旧により、東北地方への製品出荷能力は、大幅に増強されることとなりました。詳細は、以下をご覧ください。

1. 当グループ工場の操業状況

会社	工場	精製設備稼働状況			製品出荷状況			
		ガソリン(注1)	灯油	軽油	海上	貨車	タンクローリー	ドラム充填
東燃ゼネラル	川崎	○	◎	○	○(注3)	○	◎	(設備なし)
	堺	◎	◎	◎	○(注3)	(設備なし)	◎	(設備なし)
	和歌山	◎	◎	◎	○(注3)	(設備なし)	◎	◎注(2)
極東石油工業	千葉	●(3/21予定)	○	○	○(注3)	(実績なし)	○	○注(2)

- ◎ 継続運転・出荷実施中
- 3/20までに稼働再開済
- 3/21までに稼働再開予定

- (注1) 改質装置、接触分解装置(FCC)を指します
- (注2) ドラム充填……緊急用向けの燃料として……
- (注3) 津波警報発令による出荷停止

- 極東石油工業千葉製油所が、3月21日にフル生産体制に入れば、当グループのすべての工場は、フル生産体制となります。

2. 油槽所の状況

塩釜を除く全ての油槽所は、通常操業をしています。塩釜油槽所の操業状況につきましては下記(3. 東北地方への出荷状況)をご覧ください。

3. 東北地方への出荷状況等

- 仙台の塩釜油槽所は、震災後初めて本日(3月20日)午前9時に操業を開始しました。本日1日で、約16万リットルの製品を出荷しました。また、海上からの製品受け入れは、明日(3月21日)から可能となり、仙台地区での供給再開をより迅速にするため、他社と共同使用に供しています。
- 塩釜油槽所の活用に加え、川崎工場から宇都宮へ鉄道貨車での輸送を行い、その一部は宇都宮からタンクローリーで、その一部は、東北地方へ製品を出荷しております。
- 緊急用途向けの燃料として、東燃ゼネラル石油和歌山工場と極東石油千葉製油所は、200リットルドラム缶数百本に灯油と軽油を充填し、被災地用に輸送する予定です。すでに、和歌山工場からドラム缶

100 本のガソリン・灯油・軽油が、航空自衛隊入間基地(埼玉県)に到着。入間基地からは、自衛隊により東北地方に輸送されます。千葉製油所からは、本日 160 本の灯油が陸上自衛隊多賀城駐屯地(宮城県)に向け出荷されました。

- 各工場から、新潟、秋田、青森の共同油槽所への海上輸送も継続中です。

以上